

# Excelデータの処理法

## 売上データ

	A	B	C	D	E	F	G
1	売上番号	日付	商品カテゴリ	商品名	商品金額	店舗コード	
2	1	2022/2/1	生活	掃除機	45,000	1	
3	2	2022/2/1	調理器具	電子レンジ	52,000	2	
4	3	2022/2/1	テレビ	42型テレビ	99,800	4	
5	4	2022/2/1	テレビ	52型テレビ	134,800	3	
6	5	2022/2/3	調理器具	ミキサー	9,800	2	
7	6	2022/2/3	テレビ	52型テレビ	134,800	1	
8	7	2022/2/3	テレビ	52型テレビ	134,800	5	
9	8	2022/2/4	テレビ	42型テレビ	99,800	2	
10	9	2022/2/4	スマホ	本体	78,000	4	
11	10	2022/2/6	調理器具	ホットプレート	12,500	5	
12	11	2022/2/7	エアコン	小型エアコン	69,800	2	
13	12	2022/2/7	エアコン	大型エアコン	99,800	5	
14	13	2022/2/7	調理器具	ミキサー	9,800	1	
15	14	2022/2/8	生活	洗濯機	118,000	2	

## 店舗データ

	A	B
1	店舗コード	店舗名
2		1 横浜店
3		2 大阪店
4		3 京都店
5		4 東京店
6		5 福岡店
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

店舗名を入れる

通常はVLOOKUPの関数を先頭のセルに入力後、ドラッグ・コピーする

# テーブルの利用

## ①カーソルで範囲指定

	A	B
1	店舗コード	店舗名
2		1 横浜店
3		2 大阪店
4		3 京都店
5		4 東京店
6		5 福岡店

## ②右クリック後、ここをクリック

テーブルの作成

テーブルに変換するデータ範囲を指定してください(W)

先頭行をテーブルの見出しとして使用する(M)

OK キャンセル

## ③クリック

⑤閉じる

クエリ

	店舗コード	店舗名
1	1	横浜店
2	2	大阪店
3	3	京都店
4	4	東京店
5	5	福岡店

## ④名前入力

A	B	C	D	E	F	G	H
1	店舗コード	店舗名					
2		1 横浜店					
3		2 大阪店					
4		3 京都店					
5		4 東京店					
6		5 福岡店					

クエリと接続

クエリ | 接続

1 個のクエリ

店舗リスト

5 行読み込まれました。

Power Query エディター

ファイル ホーム 変換 列の追加 表示

閉じて読み込む プレビューの更新 閉じる

プロパティ 詳細エディター 管理

列の選択 列の削除 行の保持 行の削除 並べ替え

データの型: 整数 1 行目をヘッダーとして使用 値の置換

結合 パラメーターの管理 パラメーター

データソース設定 データソース

新しいソース 最近のソース データの入力

新しいクエリ

クエリ

fx = Table.TransformColumnTypes(ソース,{{"売上番号", Int64.Type}, {"日付", type

売上番号	日付	商品カテゴリ	商品名
1	2022/02/01 0:00:00	生活	掃除機
2	2022/02/01 0:00:00	調理器具	電子レンジ
3	2022/02/01 0:00:00	テレビ	42型テレビ
4	2022/02/01 0:00:00	テレビ	52型テレビ
5	2022/02/03 0:00:00	調理器具	ミキサー
6	2022/02/03 0:00:00	テレビ	52型テレビ
7	2022/02/03 0:00:00	テレビ	52型テレビ
8	2022/02/04 0:00:00	テレビ	42型テレビ
9	2022/02/04 0:00:00	スマホ	本体
10	2022/02/06 0:00:00	調理器具	ホットプレート
11	2022/02/07 0:00:00	エアコン	小型エアコン
12	2022/02/07 0:00:00	エアコン	大型エアコン
13	2022/02/07 0:00:00	調理器具	ミキサー

クエリの設定

プロパティ

名前 テーブル3

適用したステップ

ソース

変更された型

6列, 61行 上位 1000行に基づく列のプロファイリング 12:30 にダウンロードされたプレビューで

14 2022/2/8 生活 洗濯機 118,000

売上データ Sheet1 店舗データ

⑥売上データのシートも同様に名前を付けてテーブルにする

	A	B	C	D	E	F
1	売上番号	日付	商品カテゴリ	商品名	商品金額	店舗コード
2	1	2022/2/1 0:00	生活	掃除機	45000	1
3	2	2022/2/1 0:00	調理器具	電子レンジ	52000	2
4	3	2022/2/1 0:00	テレビ	42型テレビ	99800	4
5	4	2022/2/1 0:00	テレビ	52型テレビ	134800	3
6	5	2022/2/3 0:00	調理器具	ミキサー	9800	2
7	6	2022/2/3 0:00	テレビ	52型テレビ	134800	1
8	7	2022/2/3 0:00	テレビ	52型テレビ	134800	5
9	8	2022/2/4 0:00	テレビ	42型テレビ	99800	2

クエリと接続

クエリ | 接続

2 個のクエリ

店舗リスト

5 行読み込まれました。

テーブル3

61 行読み込まれました。

	A	B	C	D	E	F	G
1	売上番号	日付	商品カテゴリ	商品名	商品金額	店舗コード	
2	1	2022/2/1 0:00	生活	掃除機	45000	1	
3	2	2022/2/1 0:00	調理器具	電子レンジ	52000	2	
4	3	2022/2/1 0:00	テレビ	42型テレビ	99800	4	
5	4	2022/2/1 0:00	テレビ	52型テレビ			

⑦VLOOKUPの関数を先頭のセルに入力

	A	B
1	店舗コード	店舗名
2	1	横浜店
3	2	大阪店
4	3	京都店
5	4	東京店
6	5	福岡店
7		

関数の引数

VLOOKUP

検索値: [@店舗コード] = 1

範囲: 店舗リスト[#すべて] = {"店舗コード","店舗名";1,"横浜店";2,"大阪店";3,"京都店";4,"東京店";5,"福岡店"}

列番号: 2 = 2

検索方法: 0 = FALSE

= "横浜店"

指定された範囲の 1 列目で特定の値を検索し、指定した列と同じ行にある値を返します。テーブルは昇順で並べ替えておく必要があります。

検索方法: には検索値と完全に一致する値だけを検索するか、その近似値を含めて検索するかを、論理値 (近似値を含めて検索 = TRUE または省略、完全一致の値を検索 = FALSE) で指定します。

数式の結果 = 横浜店

[この関数のヘルプ\(H\)](#) OK キャンセル

	A	B	C	D	E	F	G
1	売上番号	日付	商品カテゴリ	商品名	商品金額	店舗コード	列1
2	1	2022/2/1 0:00	生活	掃除機	45000	1	横浜店
3	2	2022/2/1 0:00	調理器具	電子レンジ	52000	2	大阪店
4	3	2022/2/1 0:00	テレビ	42型テレビ	99800	4	東京店
5	4	2022/2/1 0:00	テレビ	52型テレビ	134800	3	京都店
6	5	2022/2/3 0:00	調理器具	ミキサー	9800	2	大阪店
7	6	2022/2/3 0:00	テレビ	52型テレビ	134800	1	横浜店

⑨挿入 → ピボットテーブル クリック

⑧カーソルで範囲指定

ファイル ホーム 挿入 レイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ テーブル デザイン クエリ

ピボットテーブル 挿入

G62 =VLOOKUP([@店舗コード],店舗リスト[#すべて],2,0)

売上番号	日付	商品カテゴリ	商品名	商品金額	店舗コード	列1
1	2022/2/1 0:00	生活	掃除機	45000	1	横浜店
2	2022/2/1 0:00	調理器具	電子レンジ	52000	2	大阪店
3	2022/2/1 0:00	テレビ	42型テレビ	99800	4	東京店
4	2022/2/1 0:00	テレビ	52型テレビ	134800	3	京都店
5	2022/2/3 0:00	調理器具	ミキサー	9800	2	大阪店
6	2022/2/3 0:00	テレビ	52型テレビ	134800	1	横浜店
7	2022/2/3 0:00	テレビ	52型テレビ	134800	5	福岡店
8	2022/2/4 0:00	テレビ	42型テレビ	99800	2	大阪店
9	2022/2/4 0:00	スマホ	本体	78000	4	東京店
10	2022/2/6 0:00	調理器具	ホットプレート	12500	5	福岡店
11	2022/2/7 0:00	エアコン	小型エアコン	69800	2	大阪店
12	2022/2/7 0:00	エアコン	大型エアコン	99800	5	福岡店
13	2022/2/7 0:00	調理器具	ミキサー	9800	1	横浜店
14	2022/2/8 0:00	生活	洗濯機	118000	2	大阪店

ピボットテーブルの作成

分析するデータを選択してください。

テーブルまたは範囲を選択(S)  
 テーブル/範囲(T): 売上明細

外部データソースを使用(U)  
 接続の選択(C)...

接続名:  
 このブックのデータ モデルを使用する(D)

ピボットテーブル レポートを配置する場所を選択してください。

新規ワークシート(N)  
 既存のワークシート(E)  
 場所(L):

複数のテーブルを分析するかどうかを選択  
 このデータをデータ モデルに追加する(M)

OK キャンセル

⑩OKをクリック

ピボットテーブル1

レポートを作成するには、[ピボットテーブルのフィールド リスト] からフィールドを選択してください

準備完了

合計 / 商品金額	列ラベル	エアコン	スマホ	テレビ	生活	調理器具	総計
横浜店	行ラベル	169600	78000	539200	284800	173600	1245200
京都店		139600	78000	404200	118000	52000	791800
大阪店		239400	4000	99800	163000	123600	629800
東京店		99800	156000	369200	183600	165800	974400
福岡店		269400	3000	134800	45000	34800	487000
総計		917800	319000	1547200	794400	549800	4128200

⑪行及び列に入れる言葉をダウンロード

ピボットテーブル

ピボットテーブルのフィールド

レポートに追加するフィールドを選択してください:

商品カテゴリ  
 商品名  
 商品金額  
 店舗コード  
 店舗名

次のボックス間でフィールドをドラッグしてください:

フィルター

列  
 商品カテゴリ

行  
 店舗名

値  
 合計 / 商品金額